

ありがたきかな ふるさと

昭陽市 佐藤光子（東城町二出身）

この度の「秋のふるさと交流会」に、私の友人の参加を快く受け入れていただき、感謝致しております。

二人とも去年『運の花コンサート』に行き、運の花を觀て清里の山莊京ヶ岳に泊ったのでした。夏の景観のあれこれ、越後の人の温かさに出会ってすっかり上越が気に入り、「今度機会があったら、是非秋の里山を訪ねたいわね」と言っているのを聞いておりましたので、好機とばかりにお願いした次第です。

今回の訪問地も精選されていて、謙信所縁の史跡巡り、「ゆつたり村」と赤倉の宿泊、苗名滝、一茶の里、いもり池などの散策に紅葉も楽しめて、魅力満載のコースでした。

各所での風物はもちろんですが、二人には、皆様の温かい歓迎が一番心に残った様子で、私からも重ねてお礼を申し上げ

げます。

花を觀て寄りて香を利く菊花展

あはあはし古刹の庭の冬桜

冬桜今日が觀（ろと口ぐちに

錦秋を巡りて宿に深眠り

走り根の道轟かす冬の滝

新しき筵の匂ひ一茶の忌

眠る山まること映しいもり池

煮るための無花果を買ふ道の駅

未だ推敲しなければならぬ句ばかりですが、お陰様で今回のふるさと訪問の感動を残す事が出来ました。

晩秋の上越

八王子市 早野冬木

この度は、上越ネットワークの秋の交流会の旅行に、佐藤さんの友人ということで、参加させていただき、ありがとうございます。佐藤さんの誘いに、軽い気持ちで便乗したのですが、新潟出身でないのは関根さんと私だけで、特別参加だったことを後で知って大変恐縮しました。

三日とも天気に恵まれ、もう終りかなと思っていた紅葉も、かえてその色合いに深みを増して、山里の秋は、さながら原田泰治の絵を思わせて、懐かしく心にしみるものでした。こうして筆を走らせている今も、ゆつたり村の朝霧に包まれたのどかな風景や、男性的で迫力満点だった「苗名滝」が浮かんできます。宿も、二か所とも、とても気持ち良く、食事も美味しく頂きました。

この旅で、晩秋のひっそりした山里の空気を存分に味わい、そして思いがけずリッチな旅を楽しむことができたことを、大変嬉しく有難く、遅ればせながらお礼を申し上げます。

最後になりましたが、幹事の皆様には、本当にお世話になりました。改めて厚く御礼を申し上げます。

遠く来て越後の寺や枇杷の花

冬木



左より早野さん、佐藤さん、関根さん

佐藤光子さんから、今回の旅へお誘いを受けた時、並でないご縁を感じました。と、申しますのは過去三度上越を訪れ、その都度新しい発見のある街に、「又、必ず」という夢が現実となったからでした。初回は桜の季節、高田城址の栄華を映すお濠に夜桜の妖艶な美しさは今も臉に浮かびます。二度目は、蓮の花満開のお濠、気高く凛とした姿をカメラに収めました。三たび花の季節、城址公園での吟行会、その折佐藤さんに案内して頂いた、雁木通り、警女の宿、謙信公縁の地、林泉寺、など。

そして四度目の旅は、直江津から始まりました。菊まつりの浄興寺、山門に掛けられた菊のアーチが珍しく、更に参道に見事な菊の鉢の数々が秋を満喫させてくれました。高田町には、六十七ヶ寺を数えるとは驚きでした。次の見学地「滝寺不動」は後日知るところにより、会報二七号に詳しく掲載されておりますので、割愛させて頂きますが、滝への径を辿り近づくにつれ、確かに靈気を感じました。

今夜の宿「くわどり湯ったり村」に着いたのは暮早い季節、心温もる灯りに迎えられました。それぞれ入浴の後の楽し

み、宿の心尽くしの会席膳に舌鼓を打ち、美酒に酔い、楽しく、和やかな時が流れてゆきます。この頃になると、メンバーの方々の華々しい前歴など少しずつ知るところとなり、自分は何と場違いな処にいるのかと、身の縮む思いでおりましたが、紳士淑女の皆様は大変謙虚な方々で、初参加の者にも隔てなく接して下さいました。

翌朝は、岩殿山明静院へ息も切れんばかりの長い坂道を登り、神聖な地へ近づくにつれて、心が澄み神話の世界へ誘われます。大日如来坐像へ頭を垂れ、ご情緒を伺いました。下山の途中鈴生りの柿や木の実など愛でる余裕も出てきました。

息継ぎの胸突き八丁まゆみの実 絢子
御館跡では、勝福寺ご住職の上杉景虎にまつわるお話を拝聴し、鮫ヶ尾城址公園へ。青空の下、真っ赤な桜紅葉に景虎の流した血涙を想わずにはいられません。

景虎の無念の桜紅葉かな

絢子

次に、「日本の滝百選」の苗名滝へと移動。バスを降りれば、轟音が耳を、身体を突いて来る。その滝へもつと近づき

たくて、ごつごつした道をひたすら進む。暫く行くと一茶の句碑に出会う。

「滝けぶり側で見てさへ花の雲」 一茶
大瀑布を目前にして、人間の叡智を超えた自然の作り出す景観に一茶もさぞ驚いた事でしょう。触発されて私も一句

冷まじや天地揺るがす大瀑布 絢子

マイナスイオンを全身に浴び疲れも忘れて、二日目の宿「あかくら荘」へ。趣のある落ち着いた雰囲気心身ともに癒され、明日の旅の楽しみを胸に安らかな夜を迎えました。

限りある紙面を拙文で汚してしまいました。

皆様のご好意により、上越の旅を堪能させて頂きましたことに、心から感謝致します。最後に「上越ネットワー」の益々のご発展をお祈りいたします。



苗名の滝



苗名の滝と一緒に



一茶記念碑の前で